

98.過疎商店街に吹く新しい風！

地域活性化ゼミ

動機

商店街内のお店と提携し、イベントを開催することで商店街のお店に興味を持ち商店街を利用してくれる人を増やしたい。

仮説

高校生主催のイベントを開催することで、もともと開催されているイベントの力を借りずに商店街に来るきっかけを作れるのではないかと。

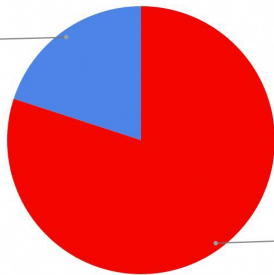
研究方法

1,アンケートの実施 2,イベントの開催

寒鰯まつりを知っていますか？

致道館生50人回答(寒鰯まつり前)

知らない
20.0%



知っている
80.0%

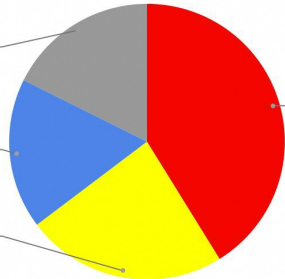
何で寒鰯まつりを知りましたか？

寒鰯まつりに来た方17名回答

その他
17.6%

ポスター
17.6%

SNS
23.5%



知人
41.2%

アンケートと当日の様子からわかること
致道館生は寒鰯まつりについて知っている人が多い。しかし、当日は高校生同士で来場する方が少なかった。
当日は2万人程の方が来場した。その中でも、鶴岡市から来られた方が一番多い。県外から来る方も4分の1くらいだった。

期間限定のイベント開催

クリスマスイベント（12月22日～12月23日）

22日 キャンドル作り(主催 ル・ノワール・ラケ様)
鶴岡のキャンドル作家のラケさんにご協力いただき、キャンドル作り体験をした。

23日ミニスワッグ作り

みうら生花店様の提供のもと、ミニスワッグワークショップを開催した。(協力:みうら生花店)

クリスマスウィーク

エビスヤビル内をライトや風船で装飾し2月23日～25日の4時～7時まで開きホットチョコ提供、クッキー販売、プレゼント交換を行った。
(協力:三浦生花店、アルペジオ)

イベントを開催して

- ・たくさんの方との繋がりが必要だった
- ・ポスター制作したものの、あまり宣伝として機能させることができなかった
- ・来場者からイベントに対する思いがわかった
- ・もっとしっかりとした準備や企画を行えることができたよかったです



〈その他のイベントの参加〉

- ・銀座秋祭り(うちわ、提灯作り)
- ・荘内大祭(キャンドル制作体験)
- ・ポテトフェスティバル(じゃがいも堀りのボランティア)っぽく

〈ご協力していただいた方々〉

銀座商店街の関係者様
みうら生花店様
キャンドル作家
ル・ノワール・ラケ様
アルペジオ様

まとめ

イベントやボランティアを通して、普段の学校生活では話すことができない様々な人と交流し自分達の見解を深めることができた。銀座商店街は祭りの他にも交流会やイベントを開催していて、地元や県外の人々にとって縁を繋ぐ場所であり、その繋ぎを絶やさないことが商店街を活性化する手段だ。